



# ネイチャーセンターだより

2023年5・6月号

## 新・いきもの図鑑



【参考文献】更科他. 2020. コタン生物記川野鳥・水鳥・昆虫篇. 青土社.  
中村他. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>. 保育社.

## クマゲラ (熊啄木鳥)

日本で見られるキツツキ類で最大の種で、ハシボソガラスが木に縦にとまっているくらいの大きさになります。食べ物は木の中にあるアリやカミキリムシの幼虫など。クマゲラは木に縦に長くえぐるような穴をあけることがあります。この穴は「船掘型」と呼ばれ、丸木舟のように見えることから、クマゲラはアイヌ語では「舟を掘る鳥」と呼ばれています。ちなみにキツツキ類の鼻孔は硬い羽毛で覆われているため、木くずが鼻を傷つけることはありません。クマゲラの食痕は、ネイチャーセンター館内に展示していますので、ぜひご覧ください。

日本では北海道と東北地方の一部にのみ留鳥として分布し、天然記念物に指定されている鳥です。春国岱の森にも生息しており、キョーンというよく響く声が聞こえることや、アカエゾマツコースの終点付近でごくまれに姿を見ることがあります。今年4月14日には、東梅自然学習林で2羽が確認されています(情報:高橋佳子さん)。

## 春国岱・自然学習林で

### 春の鳥を初めて見つけた日

夏鳥や旅鳥が次々に渡って来ています。今年は全国で桜の開花が早まったことや、ネイチャーセンター周辺でのキタミフクジュソウの開花が例年より半月も早かったことから、鳥の動きも早くなるのではないかと予想していました。4月27日現在までの、今年初めて夏鳥・旅鳥を見た日の結果は表のとおりです。例年よりやや早い種が8種、例年並み(±3日)は6種でした。ルリビタキは30日も早い結果になっていますが、森の方へ行かないとさえずりが聞こえないため、確認ができていなかっただけで、過去にももっと早くに来ていた可能性はあります。これから6月にかけて、シギ・チドリ類やムシクイ類、センニュウ類、カッコウの仲間などが渡ってきます。

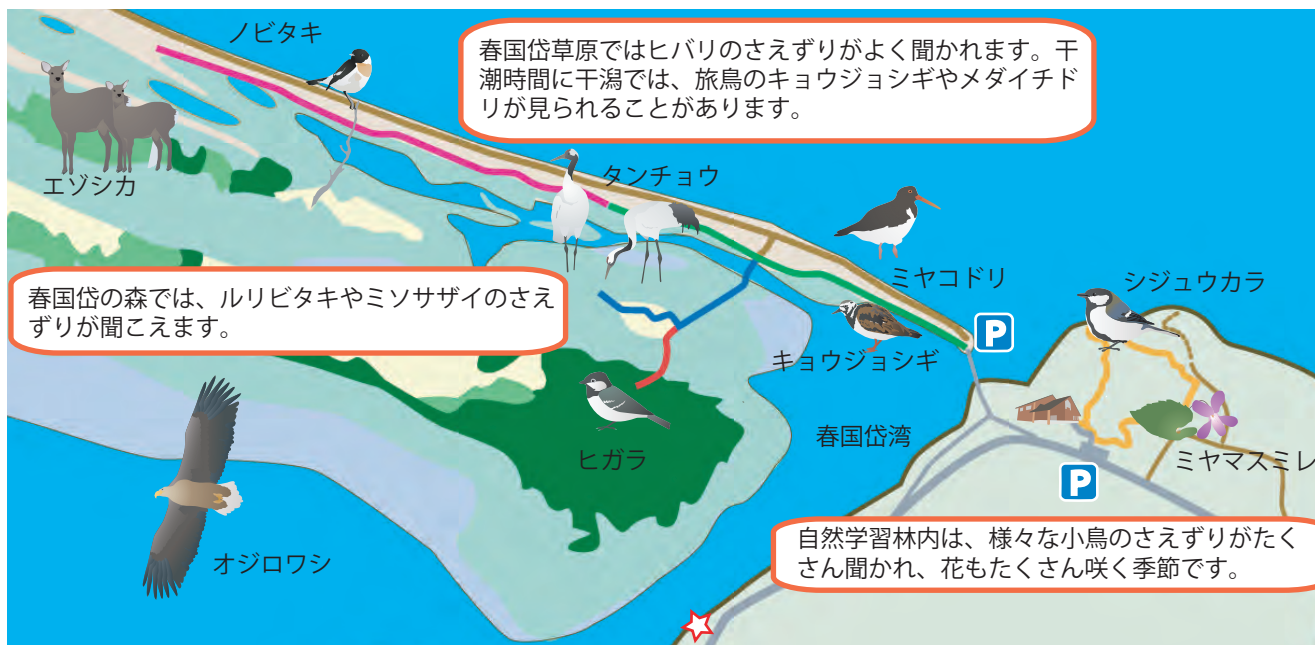
## NEWS

表1. 春国岱・自然学習林で春の鳥を初めて見つけた日

種名	2023年初認日	例年比(日数)※
タンチョウ	2/19	3
ハクセキレイ	3/25	-2
ヒバリ	3/24	3
ミヤコドリ	4/8	1
アオサギ	4/13	-1
ベニマシコ	4/24	-5
タヒバリ	4/21	4
オオジュリン	4/11	11
ノビタキ	4/14	9
アオジ	4/23	3
キジバト	4/24	5
ウグイス	4/21	9
アカハラ	4/24	6
メダイチドリ	4/16	14
ハマシギ	4/16	19
ルリビタキ	4/15	30

※2015～2022年の平均との比較。  
プラスは例年より早く、マイナスは例年より遅い。

# 見どころMAP



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 5・6月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
  - ちょっと気をつければ見られる
  - + よく気をつければ見られる
  - ・ めったに見られない

オジロワシ	+	少数が風蓮湖周辺に残り、子育てをしています。干潮時、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、魚や水鳥などを狙っている姿が見られます。
タンチョウ	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで採食している様子や、休む様子がよく見られます。5月は、抱卵・ふ化の時期でとても神経質になっているため、巣を探したりせず、落ち着かないようすのタンチョウがいたら近づかずすぐに離れてください。
オオジシギ	○	ネイチャーセンター駐車場付近や自然学習林周辺の草原で、オスがメスに求愛するため「ズビャク、ズビャク」と鳴きながら飛び、「ゴゴゴ」と尾羽で音を出しながら急降下する姿が見られます。
ミヤコドリ	+	例年、5月上旬には数が減ってきます。5月の終わりまで残っているものもいますが少ないです。
春国岱	野鳥 (森)	森からルリビタキやミソサザイ、カッコウの声がよく聞こえるようになります。運が良いとクマガラの鳴き声やドラミングが聞こえるかもしれません。
	野鳥 (草原)	海岸の草原ではヒバリやハクセキレイのさえずりがよく聞かれます。風蓮湖の周りでは、ノビタキやオオジュリンが見られる。湿原では6月になると、マキノセンニュウやシマセンニュウ、ノビタキなどのさえずりが聞かれるようになります。運が良いと林縁部でノゴマを見ることがあります。
	花	5月下旬にはエゾノコウボウムギ、ハマハタザオなどが見られます。6月は、海岸草原でセンダイハギ、シコタンキンポウゲ、オオヤマフスマ、エゾノシシウド、塩性湿地でウミミドリ、ハマナスなどが花を咲かせます。
自然学習林	野鳥	夏鳥が続々と渡ってきます。5月上旬にはセンダイムシクイやエゾムシクイなどが渡来し、下旬にはキビタキが見られます。6月上旬には、エゾセンニュウのさえずりがよく聞かれるようになります。
	花	ミズバショウは5月中旬には咲き終わりです。ミヤマスミレ、ヒメイチゲ、オオパナノエンレイソウ、エゾオオサクラソウなどが見られます。6月は、コンロンソウ、エゾクサイチゴ、シコタンキンポウゲ、ヒオウギアヤメなどが開花します。

## (公財) 日本野鳥の会から レンジャー着任のご挨拶

掛下 尚一郎 (かけした しょういちろう)



4月末から春国岱原生野鳥公園に着任しました。福岡市、東京都大田区、神奈川県横浜市と渡り歩き、根室にやってきました。学生のころ長期休暇を利用して道東を中心にボランティア活動で北海道を訪れ、その足で根室も訪問したことがあります。その後も仕事のご縁で何度か来根する機会がありましたが、この度、ネイチャーセンターに勤務する機会をいただきました。これまで務めたフィールドとは異なり雄大な自然が広がり、それだけでも圧倒され魅了されています。根室市の宝の一つであるこの豊かな自然についてこれから学び、多くの方にその魅力をお伝えしていきたいと思えます。生活面もふくめ慣れないことばかりではありますが、精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 異動のご挨拶

古南 幸弘 (こみなみ ゆきひろ)



このたび、春国岱ネイチャーセンターから東京の日本野鳥の会事務局へ異動することになりました。2017年4月に初めて北海道に引っ越してきて、以来6年間、根室の自然の美しさ、豊かさや、来館者の皆さんとのふれあいに感動する日々を過ごせたことはほんとうに幸せでした。ご縁のあった方々に心からお礼申し上げます。東京では、春国岱をはじめとした全国のネイチャーセンター、自然観察センターで働くレンジャーの活動をサポートする仕事をいたします。レンジャーを通じて、気持ちはいつも根室とつながっていたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

## 風蓮湖内で雑種「ミコアイサ × ホオジロガモ」を確認

トピックス

3月25日、オオハクチョウの個体数調査をするために風蓮湖内を観察していると、ヤウシュベツ川河口に、ホオジロガモの雄2羽とともに、頭の白いカモがいることに気が付きました。ミコアイサやヒメハジロに似ているようにも見えましたが、どちらともやや異なる姿。スマスコで写真を撮り、後日調べてみると、どうやらミコアイサとホオジロガモの雑種の様です。ミコアイサとホオジロガモは、どちらもユーラシア大陸に繁殖分布し、樹洞で営巣する種。そんな2種の交雑により生まれたこの雑種は、北海道とヨーロッパで観察記録があるようです。



### 【参考文献】

氏原他. 2015. 法定版 日本のカモ識別図鑑. 誠文堂新光社.  
中村他. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>. 保育社.  
eBird. Common Goldeneye x Smew (hybrid) - *Bucephala clangula* x *Mergellus albellus*. 2023年4月22日閲覧.

▲写真上：ホオジロガモのオス2羽（左と中央）と、雑種（右）  
写真下：右側が雑種と見られる個体

## ★春国岱ネイチャーセンターのイベント情報★

### ◆～5/14 第28回 タンチョウイラスト展 開催期間を延長しました！

- ◇開催期間：～5月14日（日） 9：00～17：00 ※毎週水曜日、5月8日～12日は休館日
- ◇場 所：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター2階

### ◆5/3～5/7 小鳥の小道たからさがしラリー（事前申込不要・参加無料！）

東梅自然学習林でおたからさがそう！ネイチャーセンターで宝の地図をうけとって、小鳥の小道（1.4km）を一周する間に、いろんな自然のお宝をさがして来てください。全部の写真をとれた人には、野鳥のポストカードをプレゼント！当日、ネイチャーセンターで受付してください。

- ◇開催期間：5月3日（水・祝）～5月7日（日）
- ◇受付時間・場所：10：00～16：00 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
- ◇対 象：子どもから大人までどなたでも
- ◇服装・持ち物：長ぐつ、長そで、長ズボン、ぼうし；歩きやすい服装で来てください。カメラ（デジカメやカメラのついたらけたい電話）、虫よけスプレー。



### ◆5/21 小鳥の小道ネイチャーウォッチング

いつもよりちょっと早起きして、ネイチャーセンターとなりの自然学習林を歩きながら、野鳥や草花など、いろんな生き物をさがしませんか？

- ◇日時：5月21日（日）7：00～9：00 ※雨天時は、5月28日（日）に順延。
- ◇集合・解散：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
- ◇対象：3歳以上（17歳以下の方は、保護者が同伴されるか、保護者の方が参加申込書にご署名ください）
- ◇定員：20名（先着順）
- ◇服装・持ち物：長そで、長ズボン、ぼうし、歩きやすく汚れてもよい靴（長靴がベスト）。飲み物、筆記用具、虫よけスプレー。お持ちの方は双眼鏡（貸出しあり）
- ◇参加費：100円
- ◇申込：メール、電話または来館時に直接お申込み。参加者全員の氏名・連絡先・小学生以下の方は年齢・学年もお知らせください。メ切：5月18日（木）17：00 春国岱ネイチャーセンター 電話：0153-25-3047 / Eメール：nemu\_nc@marimo.or.jp



**募集中！** ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回（基本的に第3火曜日）の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu\_nc@marimo.or.jp

HP [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆開館時間 9：00～17：00（4～9月）

◆休館日：（毎週水曜日、祝日の翌日（土・日を除く）、水曜日が祝日の場合翌々日）

5月8～12・17・24・31日 6月7・14・21・28日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制・2週間前までにご連絡ください）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録